



## Valkyrie、カタール FIA WEC 開幕戦にてデビュー 歴史的なハイパーカークラス初出場シーズンの幕開け

- アストンマーティンのハイパーカーValkyrie、FIA 世界耐久選手権（WEC）開幕戦のカタール 1812km レースで国際レースデビュー
- Valkyrie は世界最高峰のスポーツカーシリーズ、WEC と IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権の両方で競う唯一のハイパーカー
- アストンマーティン THOR チームがウィング・バッジとともにル・マン 24 時間に復帰し、1959 年以來となる総合優勝を目指す
- フルシーズン・2 台体制のドライバー布陣では、アレックス・リベラスとハリー・ティンクネルに、FIA GT 世界選手権 3 連覇のマルコ・ソーレンセンと英国の新星トム・ギャンプルが加わる
- セブリングにおける IMSA プログラムの開始前に、ロス・ガンとロマン・デ・アンジェリスのカタール出場が確認される



2025年2月25日（水）、ルサイル（カタール）：

英国のウルトラ・ラグジュアリーブランドであるアストンマーティンの最新型ハイパーカー、Valkyrieが今週末、ルサイル・インターナショナル・サーキットで開催される2025年FIA世界耐久選手権（WEC）の開幕戦、カタール1812kmレースでデビューを飾ります。アストンマーティンの歴史の心躍る新たな章が始まります。

アストンマーティン初の「ル・マン・ハイパーカー」（LMH）となるValkyrieは、WECの最高峰クラスで唯一、公道仕様のハイパーカーをベースにしています。ワークsteam The Heart of Racing（THOR）がカタールで指揮するグローバルデビューによって、FIA WECと北米IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権の両方に参戦するアストンマーティンの歴史的なシーズンが幕を開けます。

アストンマーティン・パフォーマンス・テクノロジーズとTHORの采配の下、Valkyrieの量産モデルから生み出された競技バージョンは、レース用に最適化したカーボンファイバー製のシャシーにコスワース開発の自然吸気6.5リッターV12エンジンの改良版を搭載しています。エンジンは標準仕様では最高回転数11,000rpm、最大出力は1,000bhpを超えますが、ハイパーカーのレギュレーションに従い、500kW（680bhp）という出力制限を厳密に遵守します。

アストンマーティンはFIA WECに2012年の初開催から毎年出場し、11の選手権タイトル獲得で最も成功を収めているマニュファクチャラーの一つに数えられますが、今回のValkyrieは1989年のグループCチャレンジャー、AMR1以来のトップクラス出場になります。これは、世界最高峰の耐久レースであるル・マン24時間レースにおいて、1959年にキャロル・シェルビー（米国）とロイ・サルヴァドーリ（英国）がDBR1で達成して以来の総合優勝を成し遂げる機会でもあります。

出場車2台のドライバー布陣は、アストンマーティンのワークスドライバーのベテランと若手を織り交ぜた、魅力的な組み合わせとなっています。007号車のValkyrieは英国勢で固められ、2016年ヨーロッパ・ル・マン・シリーズ（ELMS）の総合チャンピオンであり2020年セブリング12時間の優勝も果たしているハリー・ティンクネルが、2020年ELMSでLMP3タイトルを獲得した新星トム・ギャンプルと組んで8レースのフルシーズンに臨み、さらに特に距離の長いカタール1812kmとル・マンでは、過去4シーズンすべてにIMSAのGTDおよびGTD Pro各カテゴリーで優勝実績のあるロス・ガンが加わります。

姉妹車の009号車では、FIA WECのGTクラスで3度タイトルを獲得しているマルコ・ソーレンセン（デンマーク）が長年THORのレーサーとして活躍するアレックス・リベラス（スペイン）と組みます。リベラスはIMSAの過去3シーズンそれぞれでGTD Pro優勝を果たしているほか、昨年のサーキット・オブ・ジ・アメリカズ（COTA）におけるFIA WEC LMGT3クラス優勝を決めたメンバーの一人でもあります。また、特に距離の長いカタール1812kmレースとル・マンでは、2022年IMSA GTDチャンピオンのロマン・デ・アンジェリスが戦力に加わります。

ハリー・ティンクネル、アストンマーティン Valkyrie 007 号車ドライバー：「新型ハイパーカー Valkyrie を初めてレースで走らせ、アストンマーティンへの復帰ともなるカタールを、ものすごく楽しみにしています。世界中が、実物の Valkyrie を見たいと待ち望んでいます。これほど注目を集めるプログラムの一員となれるのは最高の気分です。ライバルたちには 2、3 年の遅れを取っていることは承知していますので、短期間でかなり多くのことを学ばなければなりません。全員が本当に一生懸命がんばってきましたし、アストンマーティンにとっての大舞台に臨む用意はできています。」

トム・ギャンプル、アストンマーティン Valkyrie 007 号車ドライバー：「カタールの FIA 世界耐久選手権開幕ラウンドに向けて、とてもワクワクしています。アストンマーティン Valkyrie という素晴らしいプロジェクトに参加できると知ってから、毎日カウントダウンして楽しみにしています。学ばなければならないことはたくさんありますが、最高のチームが背後で支えてくれているので、レースを迎えるときには、デビュー戦で充実した結果が確実に目指せるような状態になれると期待しています。アストンマーティン THOR チームで自分がハイパーカーデビューできるのは夢のような話で、一瞬一瞬のすべてが楽しいものになると思います。」

ロス・ガン、アストンマーティン Valkyrie 007 号車ドライバー：「これは、アストンマーティンと THOR にとって、極めて重要な瞬間です。Valkyrie のデビューは大いに待ち望まれていたことであり、アストンマーティンで 10 年間ドライバーを努めてきた自分にとっても、キャリアにおける大きな一歩となります。FIA WEC に戻り、第 1 ラウンドに出場できることをとてもうれしく思います。ここで可能な限り多くを学び、最高に強力なパッケージで 10 時間レースに向かいます。」

マルコ・ソーレンセン、アストンマーティン Valkyrie 009 号車ドライバー：「カタールに行き、ガレージの Valkyrie とチームと合流し、このプログラムを前進させていくことを楽しみにしています。カタールは開幕ラウンドであり、短期間でかなり多くのことを学ばなければなりません。充実したチームに恵まれていますので、唯一進むべき道は、すべてを開始することです。今後の道のりに参加できることは誇りですし、素晴らしいものにしていきたいと思いません。」

アレックス・リベラス、アストンマーティン Valkyrie 009 号車ドライバー：「カタールでアストンマーティン THOR チームとハイパーカーデビューできることは、私にとっても、このプロジェクトに関係するすべての人にとっても、大きなマイルストーンとなります。このレーシングカーは、何カ月にも及ぶ日々と何日もの長い一日を要する驚異的な行程を経て開発されました。ようやく、世界舞台のレースで走行する姿を初めて見ることができます。参加していることを光栄に思いますし、カタールではこの先長く大切にしたい思い出ができるでしょう。」

ロマン・デ・アンジェリス、アストンマーティン Valkyrie 009 号車ドライバー：「アストンマーティン THOR チームのハイパーカープログラムの最初のレースを前にした今のさまざまな感

情を言葉に表すのは難しいです。初期テストの一部に参加できたのは超幸運でしたし、現在のこのポジションを得たいと一年間、願い続けてきました。プログラムの関係者全員が、非常に多くの努力を払ってきていて、カタルで実績を残したいと皆で楽しみにしています。」

イアン・ジェームズ、アストンマーティン THOR チーム代表：「究極のハイパーカーとして認識され、さらに唯一公道仕様をベースにした車両で、アストンマーティンのようなマニファクチャラーと共に世界選手権レベルを競えるのは、思わず頬をつねりたくなる思いです。1年目ということで、達成できることについては現実的に考えなければならぬため、最初のゴールとしてはまずは出場して毎回改良を重ねていくということになりますが、最終的に頂上に達することができないと思っているのであればそもそも挑戦はありません。関係者全員の能力には自信を持っていますし、私たちは極めて高い野望を抱いています。」

アダム・カーター、アストンマーティン耐久モータースポーツ責任者：「Valkyrie というハイパーカーは、自動車の歴史において時代を画す存在です。そのため、レースでは歴史上の地位と技術的な成果を固め、揺るぎないものにする走行を見せなければなりません。ハイパーカーの規則には従っていますが、ロードカーの Valkyrie の DNA と極めて強いつながりを持ち、同じ V12 のパワーユニットとアストンマーティンのアイコンックなデザインを中心に組み立てられています。FIA WEC のライバルたちは非常にレベルが高く、とても尊敬していますが、それこそが FIA WEC で競いたいという理由でもあります。もちろん Valkyrie には勝ってほしいですが、強力なライバルに勝たなければ、その勝利に意味はありません。THOR、アストンマーティン・パフォーマンス・テクノロジーズ (AMPT)、パートナーがそれぞれ開発で果たした役割を考えると、優れた要素がすべてそろっていると確信しています。」

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-swUr5Txnjs>



## パートナー速報：Vantage、LMGT3 タイトルに Heart of Racing と Racing Spirit of Léman と共に挑む

- Vantage、2025年シーズンに11度目のFIA WEC優勝に挑む
- The Heart of Racing、レースで勝利が続くLMGT3プログラムを2025年も継続
- アストンマーティンのワークスドライバー、マッティア・ドゥルディがFIA WEC初参戦
- Racing Spirit of Léman、カタル1812kmレースでのFIA WECデビューに向け準備万端
- ルサイル出場のアストンマーティン・レーシング・ドライバー・アカデミー卒業生はロス・ガンとロマン・デ・アンジェリスに続きヴァランタン・アス・クローで3名に

Valkyrieがハイパーカー部門に挑む一方で、アストンマーティンはLMGT3カテゴリーでも、2024年FIA世界耐久選手権勝者The Heart of Racing (THOR) とシリーズ初参戦のRacing Spirit of Lémanが駆る最新バージョンのVantage GT3で勝利に挑みます。

昨年、世界最高峰のGT3レースであるスパ・フランコルシャン24時間レースを制したVantage GT3は、ウルトラ・ラグジュアリーなロードカーと同じ機械的アーキテクチャを採用し、アストンマーティンの実績ある接着アルミシャシーを中心に組み立てられ、恐るべき4.0リッターV8ツインターボエンジンを搭載しています。

1月に開催されたIMSAウェザーテック・スポーツカー選手権の開幕ラウンド、ロレックス・デイトナ24時間にてGTDクラス表彰台を獲得したばかりの米国THORチームは、2シーズン目のWECフル出場に実力派ぞろいのドライバー布陣で臨みます。

北米でいくつものスポーツカー選手権のチャンピオンの座に輝き、昨年のサーキット・オブ・ジ・アメリカズ (COTA) でもLMGT3優勝を収めたチーム代表のイアン・ジェームス (英国) と組むのは、2021年IMSA GTDタイトル獲得者であり2023年のヨーロッパ・ル・マン・シリーズ (ELMS) GTEチャンピオンのザカリー・ロビション (カナダ) と、2023年GTワールド・チャレンジ・ヨーロッパ・スプリントのチャンピオンで、昨年のスパ・フランコルシャン24時間レースで勝利した際のメンバーにも名を連ねるアストンマーティンのワークスドライバー、マッティア・ドゥルディ (イタリア) です。

そのTHORに加え、Racing Spirit of LémanがFIA WECにおける初シーズンを迎えます。スイスを本拠とするRacing Spirit of Lémanは、アストンマーティンのワークスドライバー、ヴァランタン・アス・クロー（フランス）が2023年のル・マン・カップGT3優勝を果たしていますが、アス・クローは今シーズンもラインナップの一人として、初めて本シリーズのシーズンフル出場に臨みます。

アス・クローは、Valkyrieのドライバーであるロス・ガンとロマン・デ・アンジェリスに続き、2025年のFIA WECでアストンマーティンを駆る3人目のアストンマーティン・レーシング・アカデミー卒業生となります。このほか、昨年のELMSで共に表彰台を獲得したデレック・デボア（米国）と、13度のF1グランプリ優勝を果たしたルーベンス・バリチェロを父に持つエドゥアルド・バリチェロ（ブラジル）がドライバーを務めます。エドゥアルド・バリチェロは、2024年はブラジルのストックカーV8でタイトルを争っていましたが、今年からGTレースに移ります。

アダム・カーター、アストンマーティン耐久モータースポーツ責任者：Vantageは、さまざまな種類がありましたが、アストンマーティンで最も成功を収めたレーシングカーです。11のFIA WECタイトル獲得というこれまでの実績は、レースモデルの全バージョンのベースとなっているロードカーの実力を明確に示しています。どちらもドライバーのラインアップにもアストンマーティンのワークスドライバーを含むThe Heart of RacingとRacing Spirit of Lémanという2つの強力なパートナーチームを得て、シーズンを通して先頭で戦うための材料はすべてそろっています。」

#### 視聴方法

カタール1812kmレースは2025年2月28日（金）の現地時間14:00（GMT+3時間）に開始されます。最終プラクティス、予選、決勝はインターネット上のFIA WEC TVで、英語またはフランス語の解説付きで生中継されます。また、各国の放送局による生中継も放送されます。

#### アストンマーティン・ラグondaについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、

DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda  
Marketing & Communications Manager-Japan

松永 悠理

[yuri.matsunaga@astonmartin.com](mailto:yuri.matsunaga@astonmartin.com)

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

[astonmartin-pr@pjbc.co.jp](mailto:astonmartin-pr@pjbc.co.jp)